



概要

このリリースノートでは、ControlSpace Designerソフトウェアリリース(バージョン5.9)に関する変更点や情報について説明します。この情報は、2021年3月5日現在のものです。

ControlSpace Designerソフトウェアに関する追加情報については、以下を参照してください:

https://pro.bose.com/ja_jp/products/software/signal_processing/controlspace_designer.html#v=controlspace_designer_variant

ControlSpaceシステムの使用やアプリケーションに関する質問やフィードバックは、Bose Professional Pro Audioコミュニティフォーラムでご覧いただけます:

<https://community.bose.com/t5/Professional-Installed/bd-p/proaudio>

新たな機能 / 改善

今回のリリースでは、以下の新たな機能・改善が追加されています。

オーディオパフォーマンス

1. ESPおよびEXプロセッサのパラメトリックEQが更新され、値(Frequency、Bandwidth、Gain)を変更したときに音声ドロップアウトする問題を改善しました。

Dante Networkオーディオ

1. Bose ProfessionalのデバイスがAES67のサブスクリプションに対応しました。
2. Danteオーディオネットワークを使用するBose Professionalのデバイスが、Dante 4.2に対応しました。これに伴い、Danteネットワークを使用するデバイスは、CSD5.9との互換性を維持するためにアップグレードする必要があります。
3. Danteデバイスのファームウェアアップデートは、Dante Controllerアプリケーション内で起動するDante Updaterを使用して行います。Audinate Brooklyn-IIモジュールを採用しているデバイス(ESP 00-II、ESP、EXプロセッサ、Power-Matchアンプ、EX-8MLエンドポイント)は、Dante ControllerでDanteファームウェアをアップデートする際、手動で再起動する必要があります。
4. Bose Professionalの全てのDanteデバイスでDante Domain Managerに対応しました。サポート内容は以下の通りです。
 - a. ネットワーク上のすべてのデバイス、特定のDante Domain内のデバイス、またはアドホックDanteデバイスを表示するようにProject Viewをフィルタリングするための新しいメニュー項目「Dante Domain」を追加しました。これらのフィルターは、スピーカーアイコンやネットワークに接続されていないデバイスなど、ControlSpaceやDante以外のデバイスには影響しません。
 - b. すべてのアクティブなDanteデバイスとそのドメイン、接続状態を表示する「Dante Domain Overview」ウィンドウを追加しました。Dante Domain Overviewウィンドウは、Window>Dante Domain Overviewを選択するか、Danteデバイス上で右クリックして「Open Dante Domain Overview」を選択することで表示されます。このウィンドウには、すべてのアクティブなDanteデバイスとそのドメイン、接続状態が表示されます。
 - c. ControlSpace Design File(.csp)には、DanteデバイスやそれらのDante Domainへのサブスクリプションに関する情報、Dante Domainの接続情報などが保存されます。
 - d. DDMはDanteのメジャーアップグレードであり、Danteファームウェアのバージョン4.2以降を使用する必要があります。DDMとの互換性の問題を防ぐために、Danteファームウェアの必要最低限のバージョンを実装しました。ControlSpace Designerソフトウェアを使用して接続するため、バージョン4.2以降のDanteファームウェアを使用していないデバイスは、Dante Controllerを使用してアップデートする必要があります。



5. Danteチャンネル名のインポートのサポートが無効になりました。すべてのダイアログ、メニュー項目、およびDanteチャンネル名の自動検出は、ControlSpace Designerの5.10リリースで再導入される予定です。
6. 古いDanteファームウェア(.dnt)ファイルを、Danteファームウェアディレクトリから削除しました。

デバイスの改善

1. ControlSpace EXおよびESPデバイスは、デバイス内にデバッグログをローカル保存するようになりました。デバッグログは、電源の再投入後も維持され、ControlSpace Designerの修正バージョンを使用して取得できます。この機能は、現場の問題を特定・解決するために追加情報が必要になった際に、インストールされているシステムのサポートを支援することを目的としています。デバッグログにアクセスするには、以下の手順を行います：

コマンドウィンドウ(Administratorとして実行)

- 1) 新しいコマンドウィンドウを開き、Administratorとして実行します。
- 2) 次のコマンドを入力します：cd C:\Program Files (x86)\Bose\ControlSpace 5.9\bin
- 3) 次のコマンドを入力します：CSDesigner.exe -l
- 4) CS Designer がデバッグロギングモードで起動します。

デバッグロギングモード用のデスクトップショートカットの作成

- 1) C:\Program Files(x86)\Bose\ControlSpace 5.9\bin に移動します。
- 2) CS Designer アプリケーションの上で右クリックし、「ショートカットの作成」を選択します。
- 3) デスクトップにショートカットを作成するよう促され「OK」を選択するとデスクトップに新しいショートカットが作成されます。
- 4) ControlSpace Designer 5.9のデスクトップ上のショートカットアイコンを右クリックし、「Properties」を選択します。
- 5) ターゲットフィールド(リンク先)のテキストの後に全て半角文字で「-l」【スペース(空白)、-(ダッシュ)、l(小文字のL)】と入力します。「l(小文字のL)」はlogging(ロギング)を意味します。
例) C:\Program Files (x86)\Bose\ControlSpace 5.9\bin\CSDesigner.exe -l
- 6) ショートカットを使ってControlSpace Designer 5.9を起動します。

アプリケーションがロギングモードで実行されたら、ControlSpaceプロセッサを右クリックし、コンテキストメニューから「Download system log...」を選択することで、デバッグログを取得することができます。ただし、システムログをダウンロードするためには接続がアクティブになっている必要がありますのでご注意ください。

2. ControlSpace ESPおよびEXモデルの起動時に、SSH通信が無効になりました。
3. 以下のデバイスは現在、ネットワーク上にDHCPサーバーが存在するシステムに接続されている場合、ネットワークアドレスを取得するためのDHCPに対応しています。(ESPプロセッサ(ESP-00-IIは除く)、EXプロセッサ、PowerShareアンプ、PowerMatchアンプ、MSA12Xラウドスピーカー、CC-1D/2D/3Dコントローラー)
4. 以下のデバイスは現在、ネットワーク上にDHCPサーバーが存在しない場合のLink Localネットワークアドレスに対応しています。(ESPプロセッサ(ESP-00-IIは除く)、PowerMatchアンプ)

注意：Link LocalおよびDHCPによる動作はシステムの初期設定を目的としており、特に制御機能が必要な場合などの長期的運用にはお勧めできません。Danteオーディオネットワークを使用するBose Professionalデバイスは、Dante 4.2に対応するようにアップグレードされています。これに伴い、Danteネットワークを使用するデバイスは、CSD 5.9との互換性のためにアップグレードする必要があります。



その他

1. 新しいDevice Statusディスプレイは、システム内のすべてのデバイスの現在の接続状態を表示します。セッション中に接続が切断されたデバイスは、Device Statusディスプレイに「Disconnected」と表示され、Project View内のアイコンがグレイアウトします。
2. スピーカーサポートの変更
 - a. EdgeMaxのスピーカープロセッシングの設定を8Ω用に更新し、正しいリミッター設定を反映しました。
3. Project ViewのDevice Listに「Discontinued (生産完了モデル)」セクションが追加されました。これまでの生産完了モデルがここにすべて表示されます。
 - a. Project ViewのDevice Listが更新され、操作性とデバイス検索機能が向上しました。
 - b. すべてのESPおよびEXプロセッサが、Project ViewのデバイスリストのSound Processorsブランチに表示されるようになりました。
4. ControlSpaceデバイス用のAMXおよびCrestronデバイスドライバーを更新しました。
5. DesignMaxスピーカーのSmart Bassアップデートおよびデバイスが、スピーカーのドロップダウンメニュー内にアルファベット順に表示されるようになりました。

修正

このリリースには、以下の修正が含まれています。なお、新機能のテストで発見された問題については、以下のリストに含まれていません。このリリースで修正された不具合の完全なリストについては、Bose Professional エンジニア部門までお問い合わせください。

1. Speaker PEQプロセッシングブロックにおいて、QからBWへの変換が正しく行われなかった問題を修正しました。
2. PowerMatchアンプのIPアドレスが、STATICからDHCPに変更できない問題を修正しました。
3. Daylight Savings(サマータイム)の調整が有効な場合、タイマーイベントが適切に実行されるようになりました。
4. ESP/EXプロセッサのProcessing View内でDante I/Oを削除すると、Danteサブスクリプションが削除される問題を修正しました。
5. ControlSpace Serial Protocolのドキュメント内の情報を修正しました。
6. PowerMatchアンプのフロントパネルからスピーカーのEQを選択したときに、正しく適用されない問題を修正しました。
7. SmartBass処理ブロックが正しくないにもかかわらずキャリブレーションされているように表示される問題を修正しました。
8. SmartBassにおいて、リミッターの早期作動によってポンピングが発生する問題を修正しました。
9. SmartBassの画面上のヘルプを整理しました。
10. EXプロセッサがDante Domainに登録されていてDDMサーバーがオフラインの場合に、EXプロセッサが起動しない問題を修正しました。
11. RTCではないEXプロセッサでタイマーが実行されない問題を修正しました。
12. MSA12Xデバイスの入力がProcessing Viewアイコン上で正しく表示されない問題を修正しました。



13. SMS118サブウーファーの複数の入力接続に関する問題を修正しました。
14. Microsoft Teamsを使用しているときに、EX-UHのUSBルーティングが正しくされない問題を修正しました。
15. Danteデバイスとの通信が切断されたことを通知するメッセージが、アプリケーションのメインウィンドウの後ろに表示される問題を修正しました。
16. キャリブレーションの問題により、Smart Bassのリミッターが早期作動してしまう問題を修正しました。
17. MSA12Xスピーカーがシステム設計に含まれている場合、CSDが自動的にDanteサブスクリプションを生成しない問題を修正しました。
18. ESPが50回程度のパワーサイクル後に起動しない問題を修正しました。
19. シリアルサブスクリプションが、RS232ポートで機能しない問題を修正しました。
20. シフトでDante I/Oチャンネルの範囲を選択できない問題を修正しました。
21. CRR MatrixがOutputsのラベル名を反映しない問題を修正しました。
22. 非RTCのPSetRecallで、他のデバイスのPSetを呼び出せない問題を修正しました。
23. CSDがオフラインのとき、USB入力メーターがフルスケールで表示される問題を修正しました。
24. CSDの複数行のデバイスのラベリングの問題を修正しました。
25. CSDをモニターモードで実行できない問題を修正しました。
26. PowerMatchのアライメントディレイが適用されない問題を修正しました。
27. Dante Controlが無効のとき、外部Danteチャンネル名の読み込みが有効になる問題を修正しました。
28. TCC2のDanteチャンネルを再選択すると、CSDがクラッシュする問題を修正しました。
29. CC-xDがESP-00の本体を制御する際に関する問題を修正しました。
30. CC-xD Mode SettingがHardware Managerで利用できない問題を修正しました。
31. PowerShare matrix routerのInput/Output MuteがSOIPで動作しない問題を修正しました。
32. SOIPによるRoom Combine Numberのクエリで、常に「False」が返される問題を修正しました。
33. Room Combine Group Numberのクエリで「Error 99」が返される問題を修正しました。
34. モニターモードが動作しない問題を修正しました。
35. 複数のParameter Set Recallロジックブロックを含むファイルを開くとクラッシュする問題を修正しました。
36. プロジェクトファイルを受け取るとプロセッサが再起動する問題を修正しました。



ControlSpace Remote

このリリースはControlSpace Remoteバージョン2.10に対応しています。

サードパーティ製品のコントロール

このリリースには、ControlSpaceシステムのサードパーティ製品による制御に関する以下の更新および改善が含まれています。

1. Crestronのアップデート；Gainモジュールの不正な値の送信、Parameter Setの解析バグ、ラベル名の文字数制限の問題を修正しました。
2. AMXドライバを更新し、Group Volume Control機能を追加しました。

ファームウェアのバージョン

このリリースでは、本リリースに含まれる機能を有効にするために各デバイスのファームウェアが必要です。以下の表では、更新されたファームウェアのバージョンが示されています。

Device/s	Device FW	Dante FW	Notes
ESP-00 II	5.040	3.0.0	
ESP-880/880A/880AD/1240/1240A/1240AD/1600/4120	3.540	3.0.0	
EX-12AEC/440C/1280/1280C	2.340	3.0.1	
PM4250N/4500N/8250N/8500N	3.750	3.0.0	
PS-404D/604D	1.510	3.0.0	
EP22/40-D	--	5.0.0	
EX-4ML/8ML	2.000	3.0.0	
EX-UH	2.000	3.0.0	
WP22B/BU-D	--	5.0.0	
CC-64	1.120	--	
CC-1/2/3D	0.910	--	
MSA12X	1.042	3.0.0	



既知の問題、不具合や制限など

以下は、このリリース時点において認識されている問題と制限に関する情報です。ソフトウェアまたはハードウェアの操作に関する問題のトラブルシューティングとしてご活用いただけます。

一般的な機能

1. CSPサウンドプロセッサやPowerSpace+が同じネットワークに接続されている場合、CSDに様々な問題が発生することがあります。デバイスを切断すると問題が解決します。
2. USB入力モジュールが出力モジュールに配線されていない場合、そのモジュールはMetering(計測)データを表示しません。

CSDロジックブロック

1. ESP-00からEX-1280のTriggerにLogic Actionをアサインするとエラーになることがあります。
2. Logic Wiringビュー内のLogic Connectorsの状態が正しく表示されないことがあります。ただし、これは機能には影響しません。
3. USBのロジック出力をパラメーターセットのRecallブロックに接続すると、オンラインにした際に接続が消去されます。
4. 次の時、PSetはPSetRecallブロック経由でリコール(呼び出し)はできません。(1) PSetRecallブロックを別ブロックに接続している場合、(2)PSetRecallブロックを接続した後でPSetRecallブロック内のPSetセレクションに変更を加えた場合。
5. メーターブロックのロジック出力は正しくトリガーされますが、色が変わることはありません。

アンダーテーブルボックス

1. EX-8MLは最初の実用時にDHCPではなくリンクローカルアドレスで起動する可能性があり、デバイスを再起動すると、アドレスはDHCPに戻ります。

電話機能

1. PSTN とVoIP の呼び出し音と音声レベルが現状では正しく設定されていません。可聴上の音量では0dBと+10dBでの違いはありません。

ControlSpace Remote (CSR)

1. Avayaシステムでファーエンド側が「Hold(保留)」状態のときは、CSRでVoIP通話を終了することはできません。

その他の問題

1. レガシーモードで使用しているEX-1280Cで、GPI のデジタルモードにセレクター、ゲイン、アナログ入力/出力をプログラムしているとき、それらが機能しない場合があります。
2. PowerMatchは、デジタルオーディオの損失についてはユーザーに警告を出しません。(Dante, AmpLink, ESPLink, CobraNet, その他デジタル音声ソース等)



システムの必須要件

ControlSpace Designerソフトウェアを動作させるための必須システム要件は以下です。

- Microsoft Windows 10 (32ビットまたは64ビット)
- 1GHzプロセッサ(またはそれ以上)
- 512MBの利用可能なRAM(1GBを推奨)
- 512MBの利用可能なディスクスペース
- 1366×768 WXGAの最小解像度
- 利用可能なUSBポート×1
- 利用可能なイーサネットポート×1(最小100MB、推奨1GB)
- ControlSpace Designerを使用するには、Microsoft®.NET Frameworks 4.5がインストールされている必要があります。必要に応じて、ControlSpace Designerのインストールの一部として自動的にインストールされます。
- ControlSpace Designerを使用するには、Microsoft®Visual C++ 2019ランタイムライブラリも必要です。必要な場合はControlSpace Designerのインストールの一部として自動的にインストールされます。

注意：Microsoft Windows XP、8、および8.1の公式サポートは終了しました。